

人文社会科学部 国際日本研究専攻（博士後期課程）

2014年度以前入学者

専門基礎科目（専攻共通科目）（平成26年度以前入学者対象）

| 科目番号    | 科目名         | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員        | 授業概要   | 備考 |
|---------|-------------|------|-----|--------|------|-----|----|-------------|--|----|
| 02DM001 | プロジェクト演習I   |      | 2   | 1.0    | 1    | 通年  |    | 国際日本研究専攻全教員 | 受講者は、自らの研究プロジェクトを指導教員（複数）との討議や協議の中で、作成し、そのプロポーザルを発表する。基本的な議論の枠組み、主要な先行研究、主要な素材を提示するとともに、今後の原著的な研究のための研究計画を提示する。                                |    |
| 02DM002 | プロジェクト演習II  |      | 2   | 1.0    | 2    | 通年  |    | 国際日本研究専攻全教員 | 受講者は、自らの研究プロジェクトの中間報告を、指導教員（複数）との討議や協議の中で、作成し、その研究成果を発表する。基本的な議論の枠組み、主要な先行研究と自らの議論との違いと共通点、主要な素材の分析を提示するとともに、今後の原著的な研究のための執筆計画を提示する。           |    |
| 02DM003 | プロジェクト演習III |      | 2   | 1.0    | 3    | 通年  |    | 国際日本研究専攻全教員 | 受講者は、自らの研究プロジェクトに基づいた博士論文の予備的論文を、指導教員（複数）との討議や協議の中で、作成し、その研究成果を発表する。基本的な議論の枠組みの展開、主要な先行研究との関連、主要な素材分析結果、学問的な諸発見と貢献を提示するとともに、博士論文の中核となる諸章を発表する。 |    |

基礎科目（平成26年度以前入学者対象）

| 科目番号    | 科目名       | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員        | 授業概要                                       | 備考                    |
|---------|-----------|------|-----|--------|------|-----|----|-------------|--|-----------------------|
| 02DM004 | 現代日本研究の方法 |      | 4   | 1.0    | 1・2  | 春C  | 集中 | 国際日本研究専攻全教員 | この講義では、現代日本の研究をするための基礎的方法論・問題の設定方法（視点）を学ぶ。 | H23年度以降入学者要望があれば英語で授業 |

専門科目（国際比較研究領域）（平成26年度以前入学者対象）

| 科目番号    | 科目名       | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期  | 曜時限 | 教室 | 担当教員  | 授業概要   | 備考                           |
|---------|-----------|------|-----|--------|-------|-----|----|-------|--|------------------------------|
| 02DM108 | 比較日本社会IIB |      | 2   | 1.0    | 1・2   |     |    |       | 第二次世界大戦以降、特に同大戦に深く関わった国や地域の歴史教育について、政治的・社会的文脈の変遷とともに考察する。                        | 西暦奇数年度開講。02DME32、02DMQ41と同一。 |
| 02DM111 | 比較日本経済IIA |      | 2   | 1.0    | 1・2   |     |    |       | 工業化・資本主義化・経済発展の歴史的プロセスと、それを支える労働をはじめとする社会経済システムの関係のあり方について、日本と諸外国との国際比較を通じて検討する。 | 西暦奇数年度開講。02DMP03と同一。         |
| 02DM112 | 比較日本経済IIB |      | 2   | 1.0    | 1・2   |     |    |       | 各国の労働システムをはじめとする社会経済体制について、参加者一人一人が報告をし、それを題材として国際比較の観点から議論を行う。                  | 西暦奇数年度開講。02DMP04と同一。         |
| 02DM115 | 比較日本文化IIA |      | 2   | 1.0    | 1・2   |     |    |       | 受講生の研究関心のあることがらについて発表形式でおこなう。  | 西暦奇数年度開講。02DMS09と同一。         |
| 02DM116 | 比較日本文化IIB |      | 2   | 1.0    | 1・2   |     |    |       | 日本の生活風習を日本文学との関連で理解を深めていく。受講生の興味・関心に基づいたテーマをとりあげ演習形式ですすめる。                       | 西暦奇数年度開講。02DMS10と同一。         |
| 02DM124 | 比較東洋思想IIB |      | 2   | 1.0    | 1・2   |     |    |       | 湯浅泰雄の身体論に焦点を当てながら、その日本的特色について考察する。   | 西暦奇数年度開講。02DML02、02DMR01と同一。 |
| 02DM127 | 比較日本文学IIA |      | 0   | 1.0    | 1・2   |     |    |       | 比較文学の手法を用いて、日本近代文学の分析、考察を行う。   | 西暦奇数年度開講。英語で授業。              |
| 02DM128 | 比較日本文学IIB |      | 0   | 1.0    | 1・2   |     |    |       | 比較文学の手法を用いて、日本現代文学の分析、考察を行う。   | 「英」西暦奇数年度開講。英語で授業。           |
| 02DM141 | 比較東洋思想IIA |      | 2   | 1.0    | 1 - 3 | 秋AB | 木4 | 佐藤 貢悦 | 日中韓の比較文化論に関する諸問題について考察する。  | 02DMK02、02DMR02と同一。          |

専門科目（国際交流領域）（平成26年度以前入学者対象）

| 科目番号    | 科目名         | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要  | 備考                           |
|---------|-------------|------|-----|--------|------|-----|----|------|---|------------------------------|
| 02DM207 | 映像メディア交流IIA |      | 1   | 1.0    | 1・2  |     |    |      | 映画は文化や社会をストレートに描き出す。東西の文化圏の映画を比較考察し、そうしたグローバルな視点に立って、受講生各人が研究対象とする国・民族の独自性を解明する。映画を分析するスキルも習得する。                    | 西暦奇数年度開講。02DMT01と同一。         |
| 02DM208 | 映像メディア交流IIB |      | 1   | 1.0    | 1・2  |     |    |      | 映画は文化や社会をストレートに描き出す。東西の文化圏の映画を比較考察し、そうしたグローバルな視点に立って、受講生各人が研究対象とする国・民族の独自性を解明する。映画を分析するスキルも習得する。                    | 西暦奇数年度開講。02DMT02と同一。         |
| 02DM211 | 情報メディア交流IIA |      | 1   | 1.0    | 1・2  |     |    |      | 本講義は、ネットワーク社会に関する研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主にメディア研究の社会的および社会心理学的な研究を対象とし、デジタル技術の進歩に伴う社会や人間生活への影響を検討する。 | 西暦奇数年度開講。02DMM08、02DMT09と同一。 |

| 科目番号    | 科目名          | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要  | 備考   |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|-----|----|------|---|--|
| 02DM212 | 情報メディア交流IIB  | 1    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | 本講義は、ネットワーク社会に関する研究の方法と理論を学び、研究の実践とそれに関連する基礎知識の習得を目的とする。主に社会学および社会心理学的な研究を対象とし、ネットワーク化に伴うシステムや市民生活への影響を検討する。  | 西暦奇数年度開講。<br>02DMM10、02DMT10と同一。<br>英語で授業。 |
| 02DM217 | ユーラシア交流IIA   | 1    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | This class will take the case studies of two Japanese foreign policy initiatives -Silk Road Diplomacy and Central Asia plus Japan - and analyze their successes, problems and challenges.<br>日本の「シルクロード外交」や「中央アジアプラス日本」のイニシアティブに主点をあて、これらの外交政策の利点、弱点、課題と将来を検討する。  | 西暦奇数年度開講。<br>02DME53、02DMQ15と同一。<br>英語で授業。 |
| 02DM218 | ユーラシア交流IIB   | 1    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | This class will take the case studies of Japanese and Chinese foreign policy initiatives - Central Asia plus Japan and Shanghai Cooperation Organization - and analyze their successes, problems and challenges.<br>日本の「中央アジアプラス日本」のイニシアティブと上海協力機構に主点をあて、これらの外交政策の利点、弱点、課題と将来を検討する。   | 西暦奇数年度開講。<br>02DME54、02DMQ16と同一。<br>英語で授業。 |
| 02DM221 | 国際人的移動・交流IIA | 0    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | 国際人口移動に関して理論と実証の両面から学術的検討を試みる。おもに、この分野における主要基本文献の精読と解題をおこなう。  | 西暦奇数年度開講。                                  |
| 02DM222 | 国際人的移動・交流IIB | 0    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | 国境を越える人の移動に関する時事問題についての議論をおこなう。   | 西暦奇数年度開講。                                  |
| 02DM227 | 国際情報社会論A     | 0    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | The main goal of this course is to provide students with the opportunity to conduct in-depth analyses of key topics in the information society debate from the perspective of international politics. What is the relationship between international politics and the information society? What role do various international organizations play in the global information society? Our class will delve into selected topics including, but not limited to, communications and technological dynamics in international politics, digital divide theories, private companies and data/privacy security, and social network utilization. | 西暦奇数年度開講。<br>英語で授業。                        |
| 02DM228 | 国際情報社会論B     | 0    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | The main goal of this course is to provide students with the opportunity to conduct in-depth analyses of key topics in the information society debate from the perspective of international politics. What is the relationship between international politics and the information society? What role do various international organizations play in the global information society? Our class will delve into selected topics including, but not limited to, communications and technological dynamics in international politics, digital divide theories, private companies and data/privacy security, and social network utilization. | 西暦奇数年度開講。<br>英語で授業。                        |
| 02DM231 | ユーラシア世界史IIA  | 0    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Asian history. This course also aims at improving academic presentation skills.  | 西暦奇数年度開講。<br>英語で授業。                        |
| 02DM232 | ユーラシア世界史IIB  | 0    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | This course examines the establishment and development of the Soviet nationalities policy, and the nation-building process in Central Eurasia in 1920s and 1930s. The instructor will help students to develop an understanding of the new research trends of Modern Central Eurasian history, cultural anthropology and environmental studies.   | 西暦奇数年度開講。<br>英語で授業。                        |

専門科目(日本語教育領域)(平成26年度以前入学者対象)

| 科目番号    | 科目名      | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員  | 授業概要   | 備考        |
|---------|----------|------|-----|--------|------|-----|----|-------|--|-----------|
| 02DM301 | 日本語教育学IA | 0    | 1.0 | 1・2    | 春AB  | 応談  |    | 小野 正樹 | 日本語を中心に有効なコミュニケーションの方法および論文作成について、語用論の観点から講義を行い、参加者とともに分析・調査方法を行う。 | 西暦偶数年度開講。 |

| 科目番号    | 科目名         | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要  | 備考  |
|---------|-------------|------|-----|--------|------|-----|----|------|---|---|
| 02DM305 | 日本語教育学IIIA  | 0    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | 文章構造研究が日本語教育にどのように貢献できるかという点から文章論の理論や方法について検討する。  | 西暦奇数年度開講。<br>2015年度以降は、国際日本研究専攻博士後期課程の日本語教育学学位プログラムで開講される「02DMW17 言語表現研究演習1A(春AB水2時限)」を参照すること。受講希望者は授業初日までに担当教員に必ず連絡すること。 |
| 02DM306 | 日本語教育学IIIB  | 0    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | 文章構造研究が日本語教育にどのように貢献できるかという点から文章論の理論や方法について検討する。  | 西暦奇数年度開講。<br>2015年度以降は、国際日本研究専攻博士後期課程の日本語教育学学位プログラムで開講される「02DMW18 言語表現研究演習1B(秋AB水2時限)」を参照すること。受講希望者は授業初日までに担当教員に必ず連絡すること。 |
| 02DM309 | 日本語教育学VA    | 0    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | 第2言語学習に関する社会的なアプローチを概観しながら、社会的な観点を取り入れたリサーチプロジェクトを計画し、完成させる。  | 西暦奇数年度開講。   |
| 02DM310 | 日本語教育学VB    | 0    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | 会話分析・成員カテゴリー分析の演習を行うことによって、会話分析や成員カテゴリー分析に関する知識を増やし、分析技能の向上を狙う。   | 西暦奇数年度開講。   |
| 02DM313 | 日本語教育学VIIA  | 0    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | 漢字および漢字語彙の研究、教授法等について先行文献を概観し、分析考察するとともに、漢字語彙教育に関する研究方法について検討する。第1回はオリエンテーション、第2週～第9週は、テーマを決めて講義、発表・フィードバックを行う。途中でレポート課題を出すので、受講生は10週目にレポートを提出すること。 | 2015年度以降は、国際日本研究専攻博士後期課程の日本語教育学学位プログラムで開講される「02DMW05 第2言語習得研究1A」の概要を参照し、木曜2限の授業に参加すること。<br>西暦奇数年度開講。                      |
| 02DM314 | 日本語教育学VIIIB | 0    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | 2015年度以降、奇数年は国際日本研究専攻博士後期課程の日本語教育学学位プログラムで開講される「02DMW06 第2言語習得研究演習1B」の概要を参照し、木曜2限の授業に参加すること。  | 教科書として迫田久美子『日本語教育に生かす第2言語習得研究』アルクを使うので、用意しておくこと。<br>西暦奇数年度開講。<br>博士後期課程の学生が履修できる。留学生の場合は、日本語文化科目上級を履修可能なレベルであることを履修条件とする。 |
| 02DM317 | 日本語教育学IXA   | 0    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | 国際日本研究専攻博士課程後期課程の日本語教育学学位プログラムで開講される 02DMW09 日本語教育評価法演習1Aの概要を参照。  | 西暦奇数年度開講。   |
| 02DM318 | 日本語教育学IXB   | 0    | 1.0 | 1・2    |      |     |    |      | 国際日本研究専攻博士課程後期課程の日本語教育学学位プログラムで開講される 02DMW10 日本語教育評価法演習2Bの概要を参照。  | 西暦奇数年度開講。   |

専門科目(領域共通)(平成26年度以前入学者対象)

| 科目番号    | 科目名           | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要  | 備考                   |
|---------|---------------|------|-----|--------|------|-----|----|------|---|----------------------|
| 02DM411 | グローバル・アジアと日本I | 1    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |      | 日本とアジアのかかわりの歴史的経験、アジア太平洋協力の現状と課題、将来展望としての「アジア共同体」の道筋と日本の役割等について、学外の専門家、実務家による講義と討論により、知見と理解を深める。(寄付講座として開設) | 詳細後日周知。<br>西暦奇数年度開講。 |

演習科目(国際比較研究領域)(平成26年度以前入学者対象)

| 科目番号    | 科目名         | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要   | 備考   |
|---------|-------------|------|-----|--------|------|-----|----|------|--|--|
| 02DM157 | 比較日本社会演習IIA | 2    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |      | 国家形成や社会変動と教育の関係について、参加者の研究領域等具体的な題材を通じて議論し、比較考察する。                   | 西暦奇数年度開講。<br>02DMK09、02DMP09と同一。               |
| 02DM158 | 比較日本社会演習IIB | 0    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |      | 第二次世界大戦後の歴史教育について、参加者の研究領域等具体的な題材を通じて議論し、比較考察する。                     | 西暦奇数年度開講。                                      |
| 02DM162 | 比較日本経済演習IIB | 2    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |      | 各国の経済発展とそれを支える社会経済的基盤の形成と変容について、参加者一人一人が報告をし、それを題材として国際比較の観点から議論を行う。 | 教室: 人社A708<br>西暦奇数年度開講。<br>02DME19、02DMQ20と同一。 |

| 科目番号    | 科目名         | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員  | 授業概要   | 備考                                |
|---------|-------------|------|-----|--------|------|-----|----|-------|--|-----------------------------------|
| 02DM165 | 比較日本文化演習IIA | 0    | 1.0 | 1-3    |      |     |    |       | 日本の生活風習を日本文学との関連で理解を深めていく。受講生の興味・関心に基づいたテーマをとりあげ演習形式ですすめる。               | 西暦奇数年度開講。                         |
| 02DM166 | 比較日本文化演習IIB | 0    | 1.0 | 1-3    |      |     |    |       | 日本の生活風習を日本文学との関連で理解を深めていく。受講生の興味・関心に基づいたテーマをとりあげ演習形式ですすめる。               | 西暦奇数年度開講。                         |
| 02DM173 | 比較東洋思想演習IIA | 0    | 1.0 | 1-3    |      |     |    |       | 日中韓の比較文化論に関する文献を講読する。  | 西暦奇数年度開講。                         |
| 02DM174 | 比較東洋思想演習IIB | 0    | 1.0 | 1-3    |      |     |    |       | 日中韓の比較文化論に関する文献を講読する。  | 西暦奇数年度開講。                         |
| 02DM175 | 比較日本文学演習IA  | 0    | 1.0 | 1-3    | 春AB  | 応談  |    |       | 比較文学・文化の手法を用いて、受講者がそれぞれテーマを設定し、口頭発表とディスカッションを行う。                         | 西暦偶数年度開講。                         |
| 02DM176 | 比較日本文学演習IB  | 2    | 1.0 | 1-3    | 秋AB  | 応談  |    |       |  | 西暦偶数年度開講。                         |
| 02DM177 | 比較日本文学演習IIA | 2    | 1.0 | 1-3    |      |     |    |       | 日本文学の翻訳をめぐる諸問題について考察する。  | 西暦奇数年度開講。<br>02DMN07, 02DMS01と同一。 |
| 02DM178 | 比較日本文学演習IIB | 2    | 1.0 | 1-3    |      |     |    |       | 比較文学の手法を用いて、日本近・現代文学の分析、考察を行う。   | 西暦奇数年度開講。<br>02DMS02と同一。          |
| 02DM191 | 比較日本経済演習IIA | 2    | 1.0 | 1      | 秋AB  | 応談  |    | 田中 洋子 | 参加者の具体的な論文指導を通じて、工業化・経済発展過程と、それを支える社会経済システムの関係について、日本と諸外国との国際比較を通じて考察する。 | 02DME18, 02DMQ19と同一。              |

演習科目(国際交流領域)(平成26年度以前入学者対象)

| 科目番号    | 科目名           | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員  | 授業概要  | 備考                                |
|---------|---------------|------|-----|--------|------|-----|----|-------|---|-----------------------------------|
| 02DM253 | 国際外交関係演習IIA   | 0    | 1.0 | 1-3    |      |     |    |       | 本演習においては近現代日本の対外政策の形成に関する関係文献を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する歴史的研究の方法論について議論する。本演習を受講するには、「国際外交関係演習IIB」も同時に受講する必要がある。   | 西暦奇数年度開講。                         |
| 02DM254 | 国際外交関係演習IIB   | 0    | 1.0 | 1-3    |      |     |    |       | 本演習においては現代日本の対外政策の形成に関する最新の研究成果を講読し、その内容への理解を深めると同時に、日本外交に関する研究の方法論について議論する。本演習を受講するには、「国際外交関係演習IIA」も同時に受講する必要がある。  | 西暦奇数年度開講。                         |
| 02DM258 | 映像メディア交流演習IIB | 2    | 1.0 | 1-3    | 秋AB  | 水1  |    | 今泉 容子 | 映画における「文化」「社会」「市民(男・女)」の表象を分析する。そのさい、映画の原作(文学)を視野に入れると同時に、映画の「読みかた」も学ぶ。   | 西暦偶数年度開講。<br>02DMT04と同一。          |
| 02DM261 | 情報メディア交流演習IIA | 2    | 1.0 | 1-3    |      |     |    |       | 人工知能、還元論的情報社会論の問題点について考える。あわせて日本の科学・技術・社会・経済の「閉塞感」について考え、この「閉塞感」を乗り越え、創発・イノベーションを可能にするにはどうしたらよいか考える。日本文化がもっていた「奥行き」をめぐる議論、存在論的・解釈学的情報社会論が提起した世界の多元性の問題などを参照する。博士後期の授業は参考文献などを共同で読みながら議論を重ねるといふかたちで行う予定。ロボットについてとりあげ、「技術と文化・人々の価値観・身体図式との関連」という視点から問題にする予定。  | 西暦奇数年度開講。<br>02DMM12, 02DMT05と同一。 |
| 02DM262 | 情報メディア交流演習IIB | 2    | 1.0 | 1-3    |      |     |    |       | 「情報倫理・ロボット倫理2」に引き続き、人工知能、還元論的情報社会論の問題点について考える。あわせて日本の科学・技術・社会・経済の「閉塞感」について考え、この「閉塞感」を乗り越え、創発・イノベーションを可能にするにはどうしたらよいか考える。日本文化がもっていた「奥行き」をめぐる議論、存在論的・解釈学的情報社会論が提起した世界の多元性の問題などを参照する。博士後期の授業は参考文献などを共同で読みながら議論を重ねるといふかたちで行う予定。ロボットについてとりあげ、「技術と文化・人々の価値観・身体図式との関連」という視点や「コネクショニズム」など反「古典的計算主義(表象主義)」の視点などから問題にする予定。情報倫理、ロボット倫理の問題も取り上げる。 | 西暦奇数年度開講。<br>02DML06と同一。          |

| 科目番号    | 科目名            | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員  | 授業概要   | 備考                           |
|---------|----------------|------|-----|--------|------|-----|----|-------|--|------------------------------|
| 02DM267 | ユーラシア交流演習IIA   | 0    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |       | This class will focus on the analysis of Japanese diplomacy and relations between Japan and post-Soviet states of Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、この地域における日本の外交政策を分析する。                                | 西暦奇数年度開講。英語で授業。              |
| 02DM268 | ユーラシア交流演習IIB   | 0    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |       | This class will focus on the analysis of Japanese involvement and recent developments in Eurasian Community construction in post-Soviet Eurasia. 旧ソ連諸国(ロシア、ウクライナ、ベラルーシに加え、コーカサス、中央アジア諸国)と日本の関係を取り上げ、新しいユーラシア共同体構築の試みと日本のかかわりを分析する。 | 西暦奇数年度開講。英語で授業。              |
| 02DM271 | 国際人的移動・交流演習IIA | 2    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |       | 現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて、最近の研究動向との照らし合わせや調査方法上の課題の析出などを試みながら、検討を加える。   | 西暦奇数年度開講。02DMK14、02DMP11と同一。 |
| 02DM272 | 国際人的移動・交流演習IIB | 2    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |       | 現代の移民・難民問題、および国際人口移動に関する政策とガバナンスについて考察する。とくに受講者が取り組んでいる研究テーマについて、最近の研究動向との照らし合わせや調査方法上の課題の析出などを試みながら、検討を加える。   | 西暦奇数年度開講。02DME34、02DMQ03と同一。 |
| 02DM281 | ユーラシア世界史演習IIA  | 2    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |       | 中央ユーラシア史に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。   | 西暦奇数年度開講。02DME59、02DMQ09と同一。 |
| 02DM282 | ユーラシア世界史演習IIB  | 2    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |       | 中央ユーラシア史、人類学に関する研究文献を講読し、その内容について議論する。   | 西暦奇数年度開講。02DME60、02DMQ10と同一。 |
| 02DM291 | 映像メディア交流演習IIA  | 2    | 1.0 | 1 - 3  | 春AB  | 水1  |    | 今泉 容子 | 映画における「文化」「社会」「市民(男・女)」の表象を分析する。そのさい、映画の原作(文学)を視野に入れたと同時に、映画の「読みかた」も学ぶ。  | 西暦偶数年度開講。02DMT03と同一。         |

演習科目(日本語教育領域)(平成26年度以前入学者対象)

| 科目番号    | 科目名               | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員               | 授業概要  | 備考                                  |
|---------|-------------------|------|-----|--------|------|-----|----|--------------------|---|-------------------------------------|
| 02DM351 | 日本語教育学演習IA        | 0    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |                    | 日本語を中心とした文法・談話について調査・分析を進める。  | 西暦奇数年度開講。                           |
| 02DM352 | 日本語教育学演習IB        | 0    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |                    | 日本語を中心とした文法・談話について調査・発表を行う。   | 西暦奇数年度開講。                           |
| 02DM357 | 日本語教育学演習IVA       | 0    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |                    | 現代日本語と外国語との対照研究を通して日本語教育の現場に活用できる実践的な対照研究の方法について考察する。各受講者の研究分野について調査方法、分析方法等について議論する。             | 西暦奇数年度開講。                           |
| 02DM358 | 日本語教育学演習IVB       | 0    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |                    | 日本語教育学、対照言語学、社会言語学に関連する研究について先行研究を読み、議論する。受講生の各研究分野について調査方法、研究方法等について議論する。                        | 西暦奇数年度開講。                           |
| 02DM361 | 日本語教育学演習VIA       | 0    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |                    | 日本語教育学に関する文献講読と課題研究。  | 西暦奇数年度開講。                           |
| 02DM362 | 日本語教育学演習VIB       | 0    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |                    | 日本語教育学に関する文献講読と課題研究。  | 西暦奇数年度開講。                           |
| 02DM369 | 日本語教育学プログラム演習IA   | 0    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |                    | 日本語教育コースの学生を対象とし、研究発表をより精緻にかつ多角的に発展させることを目的とする。内容は、院生による研究発表、運営を行う。毎回定められた発表者が自身の研究内容の成果と課題を報告する。 | 日本語教育領域の学生は必ず受講すること。2017年度より2年おき開講。 |
| 02DM370 | 日本語教育学プログラム演習IB   | 0    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |                    | 日本語教育コースの学生を対象とし、研究発表をより精緻にかつ多角的に発展させることを目的とする。内容は、院生による研究発表、運営を行う。毎回定められた発表者が自身の研究内容の成果と課題を報告する。 | 日本語教育領域の学生は必ず受講すること。2017年度より2年おき開講。 |
| 02DM371 | 日本語教育学プログラム演習IIA  | 0    | 1.0 | 1 - 3  | 春AB  | 応談  |    | 国際日本研究専攻日本語教育領域全教員 | 学生が、研究発表の場を運営し、各自発表を行う。   | 2018年度より2年おき開講。                     |
| 02DM372 | 日本語教育学プログラム演習IIB  | 0    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |                    | 大学院生が、各自の研究発表を行う。   | 西暦奇数年度開講。                           |
| 02DM373 | 日本語教育学プログラム演習IIIA | 0    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |                    | 学生が、研究発表の場を運営し、各自発表を行う。   | 2016年度より2年おき開講。                     |
| 02DM374 | 日本語教育学プログラム演習IIIB | 0    | 1.0 | 1 - 3  |      |     |    |                    | 大学院生が、各自の研究発表を行う。   | 2016年度より2年おき開講。主専攻必修科目。             |